

リンゴを持って元気に登校

11月24日（金）、水元中央小学校の児童たちが、学校給食にと各家庭からリンゴを1籠ずつ提供してくれました。

学校給食では、10月から3月までの間、毎食リンゴを提供しています。そのため年間約340ケースのリンゴが必要になり、農家の方々に呼びかけをし提供してもらっています。この日リンゴ農家が比較的多い水元中央小学校の児童たちが、各家庭からリンゴを持って登校し、14ケースのリンゴが集まりました。このリンゴは一度鶴翔農協の冷蔵庫に保管され、年明けの給食で提供されます。

今年も農家の方々や農業関係団体のご協力により、240ケースものリンゴが集まりました。本当にありがとうございました。



△手籠いっぱいのリンゴを持って登校する児童たち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場企画課広報国際係までどしどしお知らせ
ください。(☎22-2111 内線264)

ふるさと産品の日に交流会

11月24日（金）、富士見小学校の2年生と学校給食応援隊の方々が、給食を一緒に食べて交流を深めました。

この日は、鶴田産の農産物をできるだけ多く使った献立を出す「鶴田ふるさと産品の日」で、リンゴや野菜、漬物を給食に提供している地元農家で結成された学校給食応援隊の4人と児童たちが、会話をしながら給食をいただきました。メニューは、スチューベン餃子、大根の漬物、冬野菜のみそスープ、リンゴ、牛乳、ごはんの6品で、スープに入っている大根は1、2年生が育てたものを使用。生産者の顔が見える貴重な体験でした。



△メニューの一つである大根の漬物を提供してくれた田澤時子さん

人生は一生チャレンジの旅

11月25日（土）、女優の由美かおるさんを講師として招き、町と教育委員会主催の文化講演会が国際交流会館で開催されました。

この日は406人の町民が来場。由美さんがステージに登場すると「わ～きれい」という歓声が会場のあちこちから聞えてきました。

由美さんは講演の中で「人生は一生チャレンジの旅・優しさは自分から・感謝の気持ちをいつも持つ」この3つを心掛けることで、チャンスをつかむことができるとお話しされ、勇気を与えてくれました。最後には「西野流呼吸法」の実技指導もあり、来場者は心も体も元気になって帰って行きました。



△デビュー当時にはいていたジーンズが今でもはいるそうです



△柔らかいボールを使用しても激しいプレーが続出しました

アタックで寒さを吹き飛ばせ

12月3日（日）、町教育委員会主催のソフトバレーボール大会が体育センターで開催され、23チーム約150人が参加し熱戦を繰り広げました。

ルールは4人制（内必ず女子2名出場）で、1試合15点ラリーポイント制の3セットで行われました。決勝戦では「うめざわ岩木ぐみ」と「ブーさん」チームが戦い、接戦の上「うめざわ岩木ぐみ」が見事優勝を果たしました。優勝チーム監督の鈴木将央さんは「初めての出場で優勝できて嬉しいです。これはチームワークが良かったからだと思います。来年も優勝したいです」と話してくれました。

大きな声でメリークリスマス

12月13日（水）、英会話教室の修了式とクリスマスパーティーが公民館で開催され、スタッフを含む約60人の子どもたちが楽しいひとときを過ごしました。

始めに子どもたちは、秋庭公民館長から一人ずつ修了証書をもらい、その後ジュニアリーダーのメンバーが作った焼きそばやお菓子を食べながらゲームに参加。雪の結晶の切り絵をしたり、風船割りゲームでは汗だくになりながら走り回って遊んでいました。

最後には、各自持ってきたプレゼントを音楽に合わせてながら交換をして、友達同士プレゼントを見せ合って喜んでいました。



△子どもたちはアダムサンタからクリスマスプレゼントをもらいました